



令和3年度

スクラム御前崎

— 郷土を愛し未来を創る人づくり —



HEART of
HOSPITALITY
OMAEZAKI



御前崎市教育委員会

市民憲章

1. わたくしたちは、きまりを守り、心ふれあうまちをつくります
1. わたくしたちは、自然を愛し、安らぎのあるまちをつくります
1. わたくしたちは、働くことに喜びをもち、健康な心と体をつくります
1. わたくしたちは、学ぶ心を大切にし、薰り高い文化をつくります
1. わたくしたちは、未来をみつめ、世界にひらかれたまちをつくります

目 次

御前崎市教育行政の基本方針	-----	1
令和3年度の取組	-----	6
当初予算	-----	16
教育委員会組織図	-----	22
御前崎市教育振興基本計画・御前崎市教育大綱	-----	23

令和3年度 御前崎市教育行政の基本方針

御前崎市教育委員会では、「まちづくりは人づくりから」の考えに拠り、基本目標を『郷土を愛し、未来を創る人づくり』としています。社会全体（園・学校・家庭・地域・行政）が協働して取り組むことを重視し、「御前崎の人づくり」を『スクラム御前崎』と名付け、様々な取組を展開しています。

本年度は、策定1年目である第2次御前崎市総合計画後期基本計画（令和3年3月策定）の進捗状況を確認しながら、同時期に策定された「御前崎市教育振興基本計画・御前崎市教育大綱」に基づき、次の重点取組を推進します。

重点取組

1 生活習慣（学習習慣）の定着【継続】

子どもたちが安定した生活習慣を身に付けるため、「ゲーム障害・ネット依存の防止」について、スクラム・スクール運営協議会を中心に青少年健全育成会議等を通じて市を挙げて取り組み、子どもたちやPTAなどにおいて具体的な活動を進めます。一方、同運営協議会で平成30年度から取り組んでいる「早寝早起き朝ご飯」についても継続して奨励します。

☆総合計画 5-1-1、5-1-2

○主な施策 スクラム・スクール運営協議会、家庭教育支援の推進、「スクラム御前崎の集い」の開催、市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催

2 市の特色を活かした教育や体験による愛郷心の育成【継続】

子どもたちの愛郷心を育成するため、企業や関係団体と協力し、青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」をはじめ市独自のカリキュラムによる浜岡原子力発電所の見学等も含めたエネルギー教育や小学生を対象にしたマリンスポーツ体験による自然（＝海）とのふれあいを推進します。

☆総合計画 5-1-2、5-2-1、5-3-3

○主な施策 青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」、エネルギー教育の推進、マリンスポーツフェスタの開催

3 読書・読み聞かせの推進【継続】

子どもたちの感性を磨き、言葉の力を育み、想像力や思考力を豊かにするため、園における読書環境整備、学校図書館の充実、読み聞かせボランティアの活動推進に取り組み、市立図書館が中心となってその連携・協働を進め、「子どもたちが本と親しむまち」を目指します。

☆総合計画 5-1-2、5-2-1、5-2-2、5-3-2

○主な施策 学校における読書活動の推進、市立図書館と学校図書館との連携、園の読書環境の整備、市立図書館の充実した資料収集、読み聞かせなどのボランティアとの協働、子どものための読書環境の整備

4 乳幼児の保育・教育の充実と円滑な園小接続【継続】

主体的な遊びを大切に、これからの成長のもととなる学びに向かう力や人間性等の育成に、家庭・地域と協力して取り組みます。また、民間保育園等との連携（情報交換や就学支援など）をさらに深め、市全体の保育力の向上に努めます。

園で培った力が滑らかに小学校に接続できるよう、学校との連携を緊密にするとともに、就学準備冊子「アプローチ・スタートアップブック」の活用や関係課との連携による家庭への関わりを積極的に展開します。

☆総合計画 5-1-2、5-2-1、5-2-2

○主な施策 アプローチ・スタートアップブックの活用、スクラム研究会、自発的な遊びや体験を充実させる環境作り、教諭・保育士対象各種研修会

5 家庭教育支援の充実【継続】

子どもたちの健やかな成長のもととなる育児や家庭教育を支えるために、教育相談のほか、PTA、家庭教育支援員、こども未来課等と連携し、保護者が親の役割について考えるとともに、子どもの成長を喜ぶ気持ちを深め、豊かな親心を育むことに取り組みます。

☆総合計画 5-1-2、5-2-1

○主な施策 家庭教育支援の推進、家庭教育支援員の配置、家庭教育学級への支援、療育指導員による療育の推進と充実

6 互いの人権を尊重し、思いやりを大切にする教育への取組【新規】

いじめは絶対許されない行為であるという共通認識の下、実践的な校内研修の実施、御前崎市いじめ防止基本方針に則り、いじめの早期発見・早期解決を支援するとともに、いじめ防止のための児童生徒の主体的な活動の指導等に取り組みます。

☆総合計画 5-2-1

○主な施策 いじめ問題対策連絡協議会

7 基礎学力の向上と得意分野の伸長【継続】

汎用的な基礎学力の定着と得意分野の伸長のため、スクラムゼミナールなどを通じての授業改善、全国及び標準学力調査等の結果をもとにした指導を進めます。また、学力向上コンサルタントや各支援員等を配

置して指導や支援の充実を図ります。また、ICT 機器を効果的に活用した授業改善を支援し、学習指導要領への対応を着実に進め、「子供が学びを実感する授業」を目指した授業改善を支援し、「主体的・対話的で深い学び」にさらに近づくよう取り組みます。

☆総合計画 5-2-1

○主な施策 市独自の学力調査の実施、スクラムゼミナール、教職員対象各研修会、外国語指導助手（ALT）及び英語活動指導員の配置、ICT 支援員の配置、学習支援員等の配置

8 1人1台端末の効果的な活用【新規】

ICT 支援員の派遣拡充、教職員の研修等によって、「GIGA スクール構想御前崎市3か年計画」に沿った1人1台端末の効果的な活用を進めるとともに、ICT 機器の使用頻度を高めることに努めます。また、情報モラルの向上に取り組みます。

☆総合計画 5-1-2、5-2-1、5-2-2、5-2-3

○主な施策 情報モラル学習の推進、ICT 支援員の配置、学校の ICT 環境の向上

9 学校教育・社会教育を通じた体力の向上と健やかな体づくり【継続】

新体力テストなどの調査結果をもとにした各校の実態に対応した取組や部活動・社会体育などを通じて、体力の向上を図ります。また、多様化・深刻化する健康課題への組織的な対応を進めます。

☆総合計画 5-2-1、5-3-3

○主な施策 全国体力運動能力・運動習慣等調査の分析と活用、軽スポーツ教室・大会の開催、静岡県市町対抗駅伝への参加

10 不登校・特別な支援を必要とする児童生徒への対応【継続】

不登校が生じにくい学校づくりを目指すとともに、特別な支援を必要としたり、園・学校生活に悩んだりする園児・児童生徒が安心して園・学校生活を送ることができるよう、職員研修の促進、特別支援学級の充実、しおかぜ先生・学習支援員の配置等、きめ細かな指導や支援に取り組みます。

☆総合計画 5-2-1、5-2-2

○主な施策 「しおかぜ先生」の配置、学習支援員等の配置、就学支援委員会、個性伸長支援教育専門家チーム会議、適応指導教室「サンルーム」、個性伸長支援員の配置、療育指導員による療育の推進と充実

11 学校再編計画の検討【新規】

市内小中学校の適正な教育環境を整えるため、検討委員会を設置し、およそ20年後を見通した学校再編計画の検討を進めます。

☆総合計画 5-2-3

○主な施策 学校再編計画の検討

12 新学校給食センターの円滑な稼働【新規】

新学校給食センターが竣工して円滑に業務を開始し、新たな機能を活かして、安全で魅力的な給食を提供できるようにします。また、食育を推進するとともに、地場産食材の活用拡大に取り組みます。

☆総合計画 5-2-3、5-2-4

○主な施策 新給食センターの建設、食育指導の推進、地産地消の推進、安心、安全、おいしい給食の提供、アレルギー対応

13 ライフステージごとの学びの提供【新規】

ライフステージごとの学びの姿と場を示す「おまえざき学びの航海図」を作成するとともに、社会教育関係に限ることなく、各機関・団体等が協力して世代ごとの学びの機会を広く提供し、市民が主体的かつ継続的に学ぶ機会の整備に取り組みます。

☆総合計画 5-1-1、5-3-1

○主な施策 シニアスクール、キャリア教育の充実、「おまえざき学びの航海図」の作成・活用と生涯学習講座等の充実、「学びの循環」の仕組みづくりの推進、社会教育学級活動への支援

14 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興【継続】

様々な年代の市民が文化・教養的な学びや各スポーツに積極的に参加して充実した生活を送ることができるよう、各団体が主体となった市民の活動を支援するなど、その整備に取り組みます。特に昨年度から始まった市主催及び地区センターによる生涯学習講座の拡充を目指します。

☆総合計画 5-3-1、5-3-3、5-3-4

○主な施策 「学びの循環」の仕組みづくりの推進、社会教育学級活動への支援、御前崎市振興公社との連携によるスポーツ振興、県立池新田高校との連携、文化・芸術にふれる機会の提供、図書館での展示や講演会など文化事業の開催、市文化祭の開催、御前崎市振興公社との連携による文化振興

15 各文化施設の中長期改修計画及び社会教育施設使用料の検討【新規】

各文化施設の劣化状況調査結果をもとに、活用の方向性、修繕工事の実施等を含むおよそ30年先を見通した中長期改修計画案を作成します。

また、各社会教育施設の使用料の見直しについても検討します。

☆総合計画 5-3-4

○主な施策 市民会館・文化会館等の整備・改修

16 新型コロナウイルス感染症拡大への対応【新規】

学校教育、社会教育ともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止への高い意識と先見性及び柔軟性を持った学校運営及び社会教育事業を展開します。

一方、感染症関係者への偏見・差別、誹謗中傷の防止の徹底に取り組みます。

☆総合計画 -

○主な施策 「新しい生活様式」の実践、学校や社会教育施設での消毒の徹底、感染者への偏見・差別の防止PR

17 教職員の働き方改革の推進【継続】

働きやすく、意欲の湧く職場づくりのために、園・学校の勤務状況を詳細に把握し、園長会・校長会・教頭会と連携し、働き方改革につながる環境整備・支援体制の充実、教職員の心身の健康の保持増進に努めます。

☆総合計画 -

○主な施策 県教委「学校の働き方改革推進プロジェクト」との連携、各園・学校への調査、各園・学校での取組への支援

令和3年度の取組

「第2次 御前崎市総合計画 2016～2025」の項目に沿って記載しています。

第5章 郷土を愛し 未来を創る 人づくり

子どもが育つ基盤づくり

5-1-1 スクラムによる市全体の教育力の向上

- ・コミュニティ・スクールの推進と地域の特徴を生かした総がかりの教育支援
- ・地域人材を生かしたキャリア教育、防災教育、学校支援ボランティア活動等の拡充

・スクラム・スクール運営協議会（学校教育課）

園・学校教育はもとより、家庭や地域がそれぞれの役割を理解し、責任を果たすことで子どものよりよい成長につながります。そのため本市では、相互の教育力を相乗的に高める御前崎版コミュニティ・スクール「スクラム・スクール運営協議会」を推進していきます。スクラム・スクール運営協議会では、学校の抱える課題を家庭や地域が一体となって審議し、解決に取り組みます。

子どもたちの生活習慣の確立のために、「早寝早起き朝ご飯」の推進と「ゲーム障害・ネット依存」の予防啓発に努めます。

・学校支援地域本部〔地域学校協働本部〕（学校教育課）

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域の連携体制を構築し、学校ボランティア等、多様な形態で教員支援を行います。学校支援地域本部コーディネーターが地域と学校を結び、園・学校のニーズに合ったボランティアをコーディネートします。学校支援ボランティアの交流集会を年1回開催します。

・シニアスクール（学校教育課）

2学校を会場に、55歳以上の市民を対象に、御前崎の財（人・物・こと）に学ぶシニアスクールを実施します。シニアとともに子どもたちが学び、双方が学びの楽しさを感じられることを目指します。企画及び学校との連絡等はCS（コミュニティ・スクール）ディレクターが行います。

・防災教育の推進（学校教育課）

防災意識の向上を図るため、学校区で連携し、実際の災害を想定した異校種間合同の引き渡し訓練を行います。また、各校で防災担当者連絡会議を実施し、災害時に地域と連携して避難所運営が円滑にできるような体制を整備します。

・キャリア教育の充実（学校教育課）

変化し続ける社会の中で、目標を持ち、主体的に生き抜く力をはぐくむために、中学校のキャリア教育の充実を図ります。CS（コミュニティ・スクール）ディレクター・学校支援地域本部コーディネーターが地域と学校を結びます。生徒が様々な職業の魅力に触れることができるように、市内の事業所、企業等に参加や受け入れを依頼し、職業講話や職場体験の充実を図っていきます。

- ・ウェブサイトなどによる広報活動の充実（教育総務課・学校教育課・社会教育課・各学校）

当市の教育について市民の理解が深まるよう、教育行政、文化、スポーツ、園・小中学校の情報をウェブサイト等によって新しい情報を積極的に広報します。学校行事等について随時更新していきます。

- ・総合教育会議・移動教育委員会の実施（教育総務課）

総合教育会議において市長と教育委員が意見交換を行うとともに、移動教育委員会やタウンミーティング等を通じて市民や地域の意見を汲み取り、当市の教育施策に反映させます。

5-1-2 人としての根を養うための、市の特色を生かした教育の推進

- ・本を通した「豊かな心」の育成
- ・郷土を愛し未来を創る御前崎人の育成支援
- ・子どもたちの生活習慣の安定（ゲーム障害・ネット依存の防止）
- ・地域の子どもは地域で育てる教育の推進

- ・情報モラル学習の推進（学校教育課）

浜松学院大短期大学部長 今井昌彦教授を招聘した研修会を市内小中学校で実施し、メディアと安全に付き合っ生活する児童生徒の情報モラルの向上を図ります。また、情報モラル講座の開催やネットパトロール事業を委託業者に依頼して、インターネットを介したトラブルや犯罪から子どもたちを守る体制を整備します。

- ・家庭教育支援の推進（学校教育課）

健康な心と体づくりの基盤となる「早寝早起き朝ご飯」の生活習慣が乳幼児期から身に付くように、家庭への積極的な働きかけを続けます。また、今年度は、「ゲーム障害・ネット依存」の問題を通して、子育ての望ましい在り方について考える場を提供します。

- ・アプローチ・スタートアップブックの活用（学校教育課）

アプローチ・スタートアップブック（パンフレット）やチラシを作成し、家庭での乳幼児教育を支援します。また、幼小接続が円滑に行われるように各園での懇談会や入学説明会などで、アプローチ・スタートアップブック等を活用して、家庭への支援につなげます。

- ・サポート隊（社会教育課）

市民一体で、事故や犯罪・非行から子どもたちを守るため、各地区センターの呼びかけに賛同した市民や PTA によって、子どもたちの安全を見守る活動の実施を継続します。

- ・こども 110 番の家（社会教育課）

緊急時の子どもたちの一時避難所及び 110 番通報を行える施設として、商店や一般家庭等に依頼し通学路沿線を中心に設置します。

- ・声かけ運動（社会教育課）

「地域の青少年は地域で育てる」をコンセプトに地域の大人が様々な声かけをし、積極的に関わることを通して、青少年の健やかな成長を支援していく県の取組への協力を継続します。

- ・ **青少年補導員活動（社会教育課）**
街頭補導及び生活指導等の非行防止活動の実施を継続します。
※県内一斉青少年補導（夏季・冬季）、みなと夏祭りなど各種行事での補導
- ・ **「スクラム御前崎の集い」の開催（社会教育課）**
学校教育課と合同で開催し、スクラム・スクールでの取組に関する講演会及び青少年育成団体による子どもたちの活動成果発表と地域社会の機運を高めることを目的に開催します。
- ・ **成人式の開催（社会教育課）**
責任ある自立した大人として社会に貢献することを決意する新成人を、市民で祝福・激励するための式典を行います。
- ・ **青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」（社会教育課）**
小・中学生合同の異年齢集団による体験学習を毎月行うことによって、中学生はリーダーとしての自覚を養い、小学生は集団生活への適応力や社会ルールを身につけるとともに友だちづくりを行います。
- ・ **親子工作教室（社会教育課）**
工作を通じて親子のふれあいを図ることを目的として、市内製材所、建築組合などの協力を得て実施します。
- ・ **市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催（社会教育課）**
市と関係行政機関や各種団体、地区青少年健全育成推進委員会等が構成員となり、国や県の青少年対策と連携しながら、市民が一体となって、次の世代を担う青少年の健全育成に取り組むために設置しています。また、各地区においても地区センターを拠点として、町内会長等地区役員や PTA 代表などが構成員となり推進委員会が設置されています。

スクラム・スクール・プラン（園・小・中・高の途切れのない教育）で推進する子どもの育成

5-2-1 生きていく力の基礎の育成

- ・「好奇心を持って夢中になる子ども」の育成
- ・親の学びや育ちを応援する家庭教育支援の充実
- ・乳幼児期における個性伸長支援教育の推進

・市独自の学力調査の実施（学校教育課）

小学校2年生から中学校2年生を対象に、学力調査及び質問紙調査を実施します。早期から個々や学年の学力等の把握に努めるとともに、生活習慣の実態を分析し、きめ細やかな指導・授業改善に生かします。

・全国体力運動能力・運動習慣等調査の分析と活用（学校教育課）

毎年実施される小5と中2の調査の結果を分析し、課題の改善を図り、体力の向上に努めます。園での外遊び、小・中学校の保健体育科の授業改善、運動に親しむ休み時間や部活動等の充実を呼び掛けていきます。

・スクラム研究会（学校教育課）

「公開保育」「授業研究会」を通して、日々の保育や授業の成果を確認します。また、異校種間で教育の現状を話し合い、子ども観、教育観を共有して「とぎれのない教育」の実現を目指します。

- ・保育園・幼稚園・こども園スクラム研究会
- ・小学校スクラム研究会
- ・中学校スクラム研究会（令和3年度は、小学校スクラム研究会と合同開催）

・スクラムゼミナール（学校教育課）

「授業改善スーパーバイザー」上智大学 奈須正裕教授を招聘し、小・中学校で、新学習指導要領に示されている「資質・能力」の育成を目指した授業改善に取り組みます。

・教職員対象各研修会（学校教育課）

各校の管理職や教務・生徒指導等の担当教員を対象とした研修を行うことを通じて、教職員の資質・能力の向上に努めます。また、3年目教員は、研修の一環として2年間の教育実践をまとめ、研究論文として応募し、教育的実践力のある教職員の育成に努めます。論文作成の指導助言は、学力向上コンサルタントが行います。

・外国語指導助手（ALT）及び英語活動指導員の配置（学校教育課）

ALTを浜岡中学校と御前崎中学校にそれぞれ配置し、英語指導を行います。また、週に2日程度、御前崎小・浜岡東小に派遣し、小学校における外国語活動の充実を図ります。

さらに、英語活動指導員を白羽小・浜岡東小に配置し、外国語活動の支援を行います。

・ICT支援員の配置（学校教育課）

ICT機器を効果的に活用した子どもたちの豊かな学びを実現するため、教員にICTの活用方法等について助言援助する支援員を配置します。（各校年間36日程度）

・情報モラル学習の推進（学校教育課）【再掲】5-1-2

・エネルギー教育の推進（学校教育課）

電源立地の市民として、これからの御前崎さらには日本のエネルギーについて自ら考える力を育成します。小学6年生と中学2・3年生で実施します。

- ・シニアスクール（学校教育課）【再掲】5-1-1
- ・学校における読書活動の推進（学校教育課）

読書活動の推進を図るため、学校図書館司書を4名配置し、「本と関われる子」を目指して学校図書館の整備を進めます。
- ・市立図書館と学校図書館との連携（図書館・学校教育課）

市立図書館職員と学校図書館司書との連携を緊密にして、学校図書館の運営、資料提供、読書推進が活発になるよう努めます。
- ・「しおかぜ先生」の配置（学校教育課）

市費負担教員（2名）を配置し、特別な支援を要する子や不登校に悩む子など、生徒一人一人に応じた教育を推進するために、きめ細かな指導や支援の充実を図ります。
- ・学習支援員等の配置（学校教育課）

児童生徒の安定した学習環境を確保するため、学習支援員、養護教諭支援員、サンルーム指導員、外国人児童生徒支援員、スクールソーシャルワーカー、特別支援トータルコーディネーター、専門指導員（不登校児童生徒保護者相談員、学力向上コンサルタント、英語活動指導員）を配置し、基礎学力の定着と個性の伸長につなげます。
- ・巡回相談、教育相談（学校教育課）

児童生徒や保護者の悩みや不安を受けとめ、安全・安心に園・学校生活を送ることができるようにするために、4名の巡回相談員、3名の教育相談員を配置し、各園・学校を訪問する巡回相談（年間2回）と年間10回の教育相談を行います。
- ・就学支援委員会、個性伸長支援教育専門家チーム会議（学校教育課）

就学支援委員会では、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、教育学、医学、心理学等の観点から就学に関する総合的な判断を行います。また、個性伸長支援教育専門家チーム会議では、特別な教育的支援を必要とする児童生徒について、専門的な指導・助言を得て、個の特性を生かした支援の充実を図ります。
- ・適応指導教室「サンルーム」（学校教育課）

学校に適応できない児童生徒に対する学習支援、生活指導を行い、学校復帰を目指した自立支援を行います。また、必要に応じて、在籍する児童生徒及びその保護者に対する相談活動を行い、児童生徒の安心・安全につなげます。
- ・いじめ問題対策連絡協議会（学校教育課）

市、教育委員会、学校、関係機関、諸団体とのスクラムを強化し、いじめの状況やいじめ防止等の対策について意見交換を行い、児童生徒が安心して生活できる体制を整備します。
- ・家庭教育支援員の配置（社会教育課）

青少年の健全育成の基礎となる家庭の教育力を向上させるために、身近な地域の中で身近な人が保護者に寄り添って家庭教育の支援を行う家庭教育支援員を配置、保護者間の交流や気軽な相談の機会をつくり、保護者の不安を解消しています。親子に夕食を提供する「だれでも食堂『もぐもぐ』」を飲食店などと連携し実施しています。

また、親子のふれあいの場として「あそび塾」を実施しています。
- ・家庭教育学級への支援（社会教育課）

家庭の教育力向上のため、園・学校と保護者が学級懇談会等の学校行事と連携して家庭教育について学ぶ場や親子ふれあいの機会を持つ活動を支援しています。

5-2-2 変化の激しい今後の社会を生き抜くための資質・能力の育成

- ・互いの人権を尊重する教育の推進
- ・基礎となる資質・能力の育成
- ・体力の向上と健康課題への対応
- ・個にきめ細やかに対応する教育体制の充実
- ・情報機器の効果的な活用の研究・実践

・自発的な遊びや体験を充実させる環境作り（学校教育課）

小学校の学びにつながる自発的な遊びや体験を重視して、子どもたちが夢中になって遊び込めるような素材の選定や配置を工夫し、自発的な遊びを誘発させる園環境を整えます。

・園の読書環境の整備（学校教育課）

担任・市立図書館職員による読み聞かせを行うとともに、絵本の貸出や保護者対象の読み聞かせ講座を実施し、乳幼児期から本に親しむ習慣を推進します。

・地域の教育力を生かした保育の推進（学校教育課）

各地域の特性を生かした、行事・活動への参加、施設との交流、地域の人材の招聘などを保育活動・園外活動に取り入れることによって、多様な人との関わりや地域の自然に触れる機会を積極的に持ち、地域の人・もの・ことに触れる活動を推進します。

・教諭・保育士対象各種研修会（学校教育課）

スクラム研究会や歳児別研修会においては、公開保育を通して、遊び込む子の姿の追求や子ども観の共有をしながら、学びにつながる遊び・とぎれない教育の実現を目指します。

それぞれの経験年数・立場・担当に応じたきめ細かな研修会や、日々の保育に即実践としてつながるような内容を充実させた実技研修への参加を通して専門職としての保育力・教育力を磨きます。

・家庭教育の推進（学校教育課）【再掲】5-1-2

・アプローチ・スタートアップブックの活用（学校教育課）【再掲】5-1-2

・巡回相談、教育相談（学校教育課）【再掲】5-2-1

・個性伸長支援員の配置（学校教育課）

個性伸長支援員を配置し、特別な支援を要する園児に、個の発達に応じたきめ細やかな支援につなげます。

・療育指導員による療育の推進と充実（学校教育課・こども未来課）

療育関係機関と連携し、園訪問や計画的な療育教室を推進します。また、療育指導員や関係機関と園に出向き、子どもの発達や集団での活動の様子の把握や観察を実施します。園の集団の中での困り感や支援方法などを共有することによって、特別な支援が必要な園児へのよりよい支援につなげます。

・園職員の確保（学校教育課・総務課・こども未来課）

不足している園職員の確保に引き続き努めるとともに、定員や入園のニーズに合わせた適切な職員配置をこども未来課と連携を図りながら検討します。

・学校の ICT 環境の向上（教育総務課）

国の施策である GIGA スクールへの対応のため、校内のパソコン環境の構築に努めます。引き続き、その他関連機器の整備にも努めます。

5-2-3 子どもたちが可能性に挑戦できる教育環境の整備

- ・ 将来を見通した学校再編計画及び施設の長期改修計画の作成
- ・ ICT 教育機器の導入の推進

・ 学校の ICT 環境の向上（教育総務課）【再掲】 5-2-2

・ 安全安心な教育環境の向上（教育総務課）

学校施設は、子どもたちの学習・生活の場として教育活動の基盤となるものであり、より機能的な教育環境を整備していく必要があります。長寿命化計画に沿って、学校の計画的な修繕に取り組みます。

・ 新給食センターの建設（教育総務課）

浜岡、御前崎両学校給食センターを統合した新給食センター建設を進め、令和3年9月供用開始を目指します。

・ 学校再編計画の検討（教育総務課）

市内小中学校の適正な教育環境を整えるため、検討委員会を設置し、およそ2年後を見通した学校再編計画の検討を進めます。

5-2-4 子どもたちの心と体を支える安全で魅力ある学校給食の提供

- ・ 新学校給食センターの機能を生かした安全で魅力的な給食の提供
- ・ 食育の推進と地場産食材の活用拡大

・ 食育指導の推進（学校給食共同調理場）

園・学校と連携を図り、食に関する指導の計画に沿った、食育指導を実施していきます。また、給食参観・試食会時に依頼に応じて「食について」の講話を実施し、保護者、家庭への食育指導を推進します。

・ 地産地消の推進（学校給食共同調理場）

食材の購入にあたり、可能な限り米・野菜等地場産物の購入に努めるとともに、地産地消を計画的に推進します。

・ 安心安全、おいしい給食の提供（学校給食共同調理場）

衛生管理基準に準じた衛生管理を徹底し、子どもたちに安心して安全な給食を提供します。また、学校給食を「生きた教材」として活用できるように献立づくりの工夫に努め、食への興味や食の楽しさを実感できるよう季節の行事食または、郷土料理を提供し、魅力あるおいしい給食となるよう取り組みます。

・ アレルギー対応（学校給食共同調理場）

「御前崎市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、保護者学校・園、給食センターとの個別面談等により連携を図りながら対応を実施します。

・ 新給食センターの建設（教育総務課）【再掲】 5-2-3

自分とみんなの学びによって地域の活力となる学びの循環づくり

5-3-1 笑顔でつながる学びの輪の醸成

- ・「おまえざき学びの航海図」の作成・活用と生涯学習講座等の充実
- ・「学びの循環」の仕組みづくりの推進

・「おまえざき学びの航海図」の作成・活用と生涯学習講座等の充実（社会教育課）

学びを通じたライフステージごとの目指す姿と、市内の学びの場を示したものを「学びの航海図」として作成・活用し、市民一人一人が、世代にあった主体的な学びと、継続的な学びにより豊かな人生を思い描き、具体化していく取り組みを進めます。地区センターによる地区主体の講座と市民ニーズに応じた市直営の講座に分類充実し、市民へさらなる学びの場を提供していきます。また、各種講座の情報を一元化し市民へ分かりやすく周知していきます。

・「学びの循環」の仕組みづくりの推進（社会教育課）

生涯学習は個人の学びを自己の充実や豊かな人生の実現につながり、学びを通じた人と人とのつながりの醸成は地域の活力になります。学んだことをまちづくりへ生かすことができるよう、学習者への働きかけや、庁内の連携を進めます。

・社会教育学級活動への支援（社会教育課）

地域の学習グループが地区センター等を拠点にして地域コミュニティの向上のため、生活課題、地域課題など様々な分野に関し学習目的を持って集い学び合う活動を支援します。

5-3-2 市民の豊かな心を育み、暮らしに寄り添う図書館づくり

- ・子どもの読書活動の推進
- ・生涯学習の拠点としての施設の充実
- ・将来を見据えた図書館のスマート化の推進

・市立図書館の充実した資料収集（図書館）

生涯学習の知の拠点として、市民が求める資料の収集に努め、詳細な購入計画の基に購入を進めます。

・図書館での展示や講演会など文化事業の開催（図書館）

市民に文化・芸術に触れる機会を提供するため、ウェブサイトや SNS 等を通じて周知し、市民が興味を持つような展示・講演会・コンサートなどを開催します。

・読み聞かせなどのボランティアとの協働（図書館）

読み聞かせボランティアグループの活動が図書館・園・学校等で活発に展開されるよう、県子ども読書アドバイザーと連携してスキルアップ研修などを開催します。

・市立図書館と学校図書館との連携（図書館・学校教育課）【再掲】5-2-1

・子どものための読書環境の整備（図書館）

「第2次御前崎市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書習慣の基礎となる乳幼児期から高校生までの読書活動を支援する取組を継続して行い、子どもたちの読書環境づくりに努めます。

- ・ **問題解決に対する情報提供などの支援（図書館）**
 利用者が求める様々な問題解決への支援のため、職員のレファレンス力の向上に努め、情報を提供します。
- ・ **電子情報の利用促進（図書館）**
 ウェブサイトでの情報発信・情報提供やデータベースサービスの利用促進を積極的に行います。
- ・ **図書館サービスとしてのレクリエーション（図書館）**
 図書館が市民の集う拠点となり、利用率向上に繋がる取組の一つとして、ボードゲームなどのレクリエーションを実施し、その必要性について検証します。
- ・ **ICT 技術等を活用したサービスの推進**
 電子書籍の閲覧・貸出サービス、さらに地域資料や情報を広く活用・PR する手段としてのデジタルアーカイブの導入に向け検討します。

5-3-3 心身ともに健康な市民を目指したスポーツの振興

- ・ 幼児期からの運動環境整備による基礎体力の向上
- ・ 生涯を通して運動できる環境づくりとスポーツ団体による主体的活動への支援

- ・ **軽スポーツ教室・大会の開催（社会教育課）**
 市民が気軽にスポーツに親しむために、スポーツ推進委員が中心となって、軽スポーツ教室（ソフトバレーボール、デカスポテニス、ファミリーバドミントン）、軽スポーツ大会（ソフトバレーボール、ファミリーバドミントン、綱引き）を開催します。
- ・ **マリンスポーツフェスタの開催（社会教育課）**
 家族や友人が気軽に海に集い、海への理解を深める場を提供することを目的に海に面した地域の特性を活かした、地域密着型の海洋スポーツ事業を開催します。
- ・ **静岡県市町対抗駅伝への参加（社会教育課）**
 御前崎市代表チームを派遣するための活動を推進するとともに、長距離走の底辺拡大と振興を図ります。
- ・ **御前崎市振興公社との連携によるスポーツ振興（社会教育課）**
 指定管理者による市民プールや総合運動場、B&G 海洋センターを活用した、各種スポーツ教室や体験会を開催し、スポーツの振興と健康増進を図ります。
- ・ **県立池新田高校との連携（社会教育課）**
 御前崎マリンスポーツクラブと協力し、池新田高校スポーツコースで実施するマリンスポーツ教室へインストラクターを派遣することで、海に面した地域特性を活かした個性豊かな教育活動を支援します。

5-3-4 文化・芸術の継承と振興及び文化財の保護と活用

- ・市民が文化・芸術に触れる機会の提供と文化団体による主体的活動への支援
- ・市民による文化財継承と子どもたちが文化財に親しむ機会の提供
- ・ウミガメの生息環境の保護とその啓発活動の推進

・文化・芸術にふれる機会の提供（社会教育課）

御前崎市文化協会や伝統文化親子教室などの団体と連携し、子どもから大人まで多くの市民が文化芸術にふれることができるよう、発表や体験の場を提供します。

・図書館での展示や講演会など文化事業の開催（図書館）【再掲】5-3-2

・市文化祭の開催（社会教育課）

芸術文化の振興と市民の交流を促進し、広く文化の進展に寄与する場として、市文化協会と連携し、文化祭を開催します。

・「文芸おまえざき 第18号」の発刊（社会教育課）

文芸普及並びに文化の向上のため、「文芸おまえざき」を発刊します。

・御前崎市振興公社との連携による文化振興（社会教育課）

指定管理者による市民のニーズに合った各種文化講座や公演、教育委員会との共催による映画上映会を開催し、文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、文化振興を図ります。

・市民会館・文化会館等の整備・改修（社会教育課）

継続して安定した施設維持ができるように、各施設における中長期計画を策定します。また、文化芸術活動の場として、市民が安心して使用できるように維持管理します。

・ウミガメの保護活動（社会教育課）

国の天然記念物であるウミガメの保護とその産卵地である海岸美化のため、ウミガメ保護監視員等、関係者と連携協力して自然環境を守ります。

・文化財等の整理・保存事業（社会教育課）

市が所有・保管している未整理の史料や古写真などの整理・保存をします。

・文化財による郷土の誇りを育てる事業（社会教育課）

指定文化財や埋蔵文化財（遺跡）などの文化財を学習する講演会やこれらの文化財を巡るハイキングなど、市民文化財講座を開催します。

また、市内の小・中学校や地区センター・団体等を対象として、埋蔵文化財に関する体験学習や出張授業、出土資料貸出等を行います。

・「文化財年報」の作成（社会教育課）

本年度に実施した埋蔵文化財調査及び文化財保護・管理、文化財活用啓発活動について年報にまとめ、市のホームページで公開します。

・丸尾文六による牧之原開墾150周年記念事業（社会教育課）

郷土の偉人である丸尾文六による牧之原開墾が今年で150周年となるため、それを記念して弟の丸尾徳三郎の邸宅を解体移築して開館した丸尾記念館において丸尾文六に関する企画展及び講演会を開催します。

当初予算

目的別歳出

(単位:千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		当初比較 (A)-(B)	伸率
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比		
1 議 会 費	134,774	0.9%	136,850	0.7%	△ 2,076	-1.5%
2 総 務 費	2,141,841	13.9%	2,142,990	11.3%	△ 1,149	-0.1%
3 民 生 費	3,346,474	21.7%	3,352,811	17.7%	△ 6,337	-0.2%
4 衛 生 費	2,892,154	18.8%	2,848,089	15.0%	44,065	1.5%
5 労 働 費	15,625	0.1%	7,809	0.0%	7,816	100.1%
6 農 林 水 産 業 費	650,311	4.2%	652,238	3.4%	△ 1,927	-0.3%
7 商 工 費	396,481	2.6%	481,679	2.5%	△ 85,198	-17.7%
8 土 木 費	1,674,663	10.9%	1,822,341	9.6%	△ 147,678	-8.1%
9 消 防 費	1,097,792	7.1%	935,597	4.9%	162,195	17.3%
10 教 育 費	2,693,477	17.5%	6,298,698	33.2%	△ 3,605,221	-57.2%
11 災 害 復 旧 費	20	0.0%	20	0.0%	0	0.0%
12 公 債 費	336,388	2.2%	260,878	1.4%	75,510	28.9%
13 予 備 費	30,000	0.2%	30,000	0.2%	0	0.0%
歳 出 合 計	15,410,000	100.0%	18,970,000	100.0%	△ 3,560,000	-18.8%

※ 構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため合計と一致しない場合がある。

教育部に係る事務事業の概要調書（一般会計）

（単位：千円）

事務事業名称	事務事業概要・全体計画	令和3年度主要事業の内容	当初予算額		比較	所管
			令和3年度	令和2年度		
教育委員会費	・御前崎市教育委員会の円滑な活動及び運営を図る	教育委員会の運営に係る経費 【主な事業費】 教育委員報酬（4名） 768千円 委員費用弁償 232千円 教育委員会負担金 44千円	1,044	1,212	△ 168	教育総務課
人件費	・教育委員会事務局関係職員給与等支給に係る経費	教育長1名 教育総務課、学校教育課：正規職員 13名、会計年度任用職員41名 退職手当負担金	238,777	228,012	10,765	総務課
教育総務費	・課の事務事業実施に係る経費	課の事務事業に係る経費 【主な事業費】 OA機器保守点検業務委託料 9,975千円 （教育ネットワークおよびG I G A端末） 校務用パソコン購入 15,840千円 大型TVとG I G A端末の接続機器購入 4,653千円	51,398	16,159	35,239	教育総務課
育英奨学金事業	・優秀な人材の育成の一環として、4年生大学進学家庭への経済的支援を行う	育英資金の貸与に係る経費 【主な事業費】 奨学金貸付（57名） 34,200千円	34,249	39,664	△ 5,415	教育総務課
教育指導費	学校運営のサポートを行う ・小中学校における児童生徒と教職員の健康管理を行う ・児童生徒の適切な就学を推進する ・学校教育法に基づいた児童生徒の学籍管理を行う ・小中学校英語学習の充実を図る ・学校支援地域本部の活動を推進する	学校教育課が一般業務を行う上で必要な諸経費、学籍管理、学校保健、各種団体への負担金に係る経費 【主な事業費】 医師等報酬(22名) 5,288千円 学校支援地域本部事業コーディネーター謝礼金 960千円 教職員健康診断委託料 2,525千円 児童生徒健康診断委託料 2,615千円 英語指導助手業務委託料 7,865千円 教育費負担金 3,172千円	25,510	25,205	305	学校教育課
教育指導支援事業	小中学校における教育活動全般への支援を行う ・特別な支援を要する児童生徒を支援し安定した学習環境の確保を図る ・児童生徒の学力向上を図る ・児童生徒、保護者の抱える問題の解決を図る ・ネット上の問題を解消しより良い教育環境の構築を図る ・コミュニティスクールの推進を図る ・いじめ防止等のための対策及び支援体制の強化を図る ・園と小学校の円滑な接続を図る ・小笠地区定住外国人児童生徒の就学促進協議会への支援を行う	学校支援業務に係る経費 【主な事業費】 巡回相談、教育相談、スクラムプラン授業改善、スクラム研究会、シニアスクール、エネルギー教育、スクラムスクール運営協議会、園内職員研修、園スクラム研修、歳児研 等 講師謝礼金 2,328千円 CSディレクター活動謝礼金 1,120千円 保育補助、緊急一時保育謝礼金 1,200千円 スクラムスクール運営協議会委員報償費 160千円 スクラムグッドマナー広報用ポスター 100千円 スタートアップカリキュラム冊子 120千円 ネットパトロール事業委託料 356千円 ICT支援員業務委託料 10,032千円 学力調査、総合質問紙調査委託料 1,492千円 小笠地区定住外国人児童生徒の就学促進協議会負担金 2,401千円	22,515	17,921	4,594	学校教育課
人件費	・小学校関係職員給与等給与等支給に係る経費	市立小学校5校：会計年度任用職員10名	21,883	22,250	△ 367	総務課
小学校総務費	・小学校教育の円滑な推進を図る ・スクールバス運行管理委託等により、遠距離通学児童の通学をサポートする ・要・準要保護児童生徒就学援助及び特別支援教育就学奨励費の支給による保護者の経済的負担の軽減を図る	スクールバス運行管理委託、通学バス定期補助、要・準要保護児童生徒就学援助、特別支援教育就学奨励費の支給に係る経費 【主な事業費】 スクールバス運行管理委託料 32,989千円 通学バス定期助成金（第一小） 1,911千円 要・準要保護児童生徒就学援助費 1,032千円 特別支援教育就学奨励費 879千円	36,811	36,282	529	教育総務課
小学校管理運営事業	・小学校5校の運営・維持管理を行う	小学校5校の運営・維持管理に係る経費 【主な事業費】 消耗品費 14,085千円 印刷製本費 3,304千円 光熱水費 13,818千円 修繕料 11,928千円 医薬材料費 1,832千円 通信運搬費 3,878千円 機器保守管理委託料 7,006千円 施設管理委託料 9,493千円 環境衛生委託料 9,171千円	87,020	85,604	1,416	教育総務課

(単位：千円)

事務事業名称	事務事業概要・全体計画	令和3年度主要事業の内容	当初予算額		比較	所管
			令和3年度	令和2年度		
小学校運営支援事業	・小学校の教育活動の充実を図るため、教育用備品・図書等を整備し、教育環境の向上を図る	授業と総合的な学習を充実するための経費 小学校5校の教育環境を整えるための経費 【主な事業費】 校内研修、総合的な学習講師謝礼金 824千円 消耗品費 4,500千円 バス借上料 2,575千円 教育用備品購入費 1,249千円 図書購入費 2,883千円 教育費負担金 989千円	14,254	27,157	△ 12,903	学校教育課
小学校整備事業	・小学校5校の修繕工事、施設整備工事を行うことにより、児童の安全と教育環境の向上を図る	小学校5校の修繕工事、整備に係る経費 小学校普通教室のエアコンリース経費 【主な事業費】 市内5校分 老朽化工事費 3,000千円 5小学校工事費 10,345千円 普通教室エアコンリース 17,626千円	40,851	34,420	6,431	教育総務課
人件費	・中学校関係職員給与等支給に係る経費	浜岡中学校：会計年度任用職員2名	5,134	4,969	165	総務課
中学校総務費	・円滑な中学校教育の推進を図る ・要・進要保護児童生徒就学援助及び特別支援教育就学奨励費の支給による保護者の経済的負担の軽減を図る	学校組合負担金支払い、要・進要保護児童生徒就学援助、特別支援教育就学奨励費の支給に係る経費 【主な事業費】 御前崎市牧之原市学校組合負担金 46,096千円 要・進要保護児童生徒就学援助費 1,358千円 特別支援教育就学奨励費 848千円	48,352	47,448	904	教育総務課
中学校管理運営事業	・浜岡中学校の円滑な運営、維持管理及び施設整備に努めることにより、生徒の安全と教育環境の向上を図る	浜岡中学校の運営・維持管理に係る経費 【主な事業費】 消耗品費 4,643千円 光熱水費 7,077千円 修繕料 3,143千円 機器保守管理委託料 1,940千円 施設管理委託料 1,794千円 環境衛生委託料 409千円 リース料 1,966千円 工事諸費 429千円 施設用備品購入費 1,615千円	26,710	26,740	△ 30	教育総務課
中学校整備事業	・生徒の安全と教育環境の向上を図るため、浜岡中学校改築工事を行う	浜岡中学校改築に係る経費 【主な事業費】 発注者支援・施工監理業務委託 1,100千円 マンホールトイレ設置工事 9,319千円 建築工事費 88,000千円 事務用備品購入費 1,000千円 施設用備品購入費 3,000千円	102,923	2,505,578	△ 2,402,655	教育総務課
中学校運営支援事業	・中学校の教育活動の充実を図るため、教育用備品・図書等を整備し、教育環境の向上を図る	教育活動を円滑に推進するための経費 浜岡中学校の教育環境を整えるための経費 【主な事業費】 校内研修、保健講話等講師謝礼金 220千円 消耗品費 2,435千円 デジタル教科書インストール手数料 1,350千円 バス借上料 4,000千円 教育用備品購入費 1,400千円 図書購入費 1,136千円 教育費負担金 778千円	12,346	10,145	2,201	学校教育課
人件費	・幼稚園関係職員給与等支給に係る経費	公立幼稚園3園：正規職員 17名、会計年度任用職員13名	115,834	109,555	6,279	総務課
幼稚園管理運営事業	・市立幼稚園3園の維持管理を行い、幼児教育環境の充実を図る ・民間幼稚園の運営に係る経費の扶助を行い、民間園の経営基盤の安定を図る	市内幼稚園の維持管理及び民間幼稚園の運営扶助に関する経費 【主な事業費】 医師等報酬 1,149千円 消耗品費 5,338千円 光熱水費 3,400千円 施設修繕料 2,198千円 施設管理委託料 2,100千円 環境衛生委託料 1,473千円 エアコンリース料 1,920千円 バス借上料 1,038千円 市単工事費 32,606千円 民間幼稚園運営費扶助費 30,834千円	88,209	55,836	32,373	こども未来課

(単位：千円)

事務事業名称	事務事業概要・全体計画	令和3年度主要事業の内容	当初予算額		比較	所管
			令和3年度	令和2年度		
人件費	・認定こども園関係職員給与等支給に係る経費 さくらこども園(幼保連携型) 御前崎こども園(幼保連携型) 北こども園(幼稚園型)	認定こども園3園：正規職員 41名、会計年度任用職員50名	320,644	311,358	9,286	総務課
認定こども園管理運営事業	・認定こども園3園の施設管理、運営を行うことにより、乳幼児受入れにおける良好な保育環境の確保と、幼児教育環境の充実に図る。	認定こども園の維持管理に係る経費 【主な事業費】 医師等報酬 1,372千円 消耗品費 10,832千円 光熱水費 9,012千円 施設・物品修繕料 9,018千円 給食材料費 23,393千円 施設管理委託料 3,134千円 環境衛生委託料 3,185千円 給食調理業務委託料 18,816千円 エアコンリース料 1,703千円 バス借上料 1,368千円 市車工事費 5,969千円	94,595	83,435	11,160	こども未来課
人件費	・社会教育関係職員給与等支給に係る経費	社会教育課：正規職員 9名、会計年度任用職員2名	59,032	65,110	△ 6,078	総務課
社会教育総務費	・社会教育課の円滑な事務の推進を図る	社会教育課の円滑な事務の推進に係る経費 【主な事業費】 スポーツ及び芸術文化振興賞賜金 1,200千円 印刷製本費、公用車管理 等 1,569千円	2,769	7,115	△ 4,346	社会教育課
社会教育委員活動事業	・社会教育委員活動の円滑な推進を図る	社会教育委員活動に資する経費 【主な事業費】 社会教育委員(13名)報酬等活動経費 586千円	1,073	1,076	△ 3	社会教育課
振興公社運営事業	・指定管理制度を活用し、公共施設の効率的な管理運営を行い、市民の福祉及び健康増進を図る	御前崎市振興公社との指定管理契約に基づく経費 【主な事業費】 振興公社管理運営委託料 356,985千円 振興公社運営費補助金 600千円	357,585	358,750	△ 1,165	社会教育課
文化振興事業	・市民の文化活動の向上を図るため、文化拠点施設の整備や芸術文化の普及・文化団体の育成を図る	市民文化の向上に資する経費 【主な事業費】 文芸誌編集委員報償費(8名) 244千円 文化会館南・東外壁改修工事 1,300千円 御前崎市文化施設中長期計画策定業務委託(4施設) 2,420千円 映画上映業務委託 494千円 文芸おまえざき第18号編集業務委託 500千円 文化会館駐車外灯取替工事 2,200千円 文化協会補助金 2,000千円	10,203	12,677	△ 2,474	社会教育課
文化財保護事業	・市内に在する文化財の保護と埋蔵文化財の調査を行い、貴重な文化遺産を後世に伝えるとともに、アカウミガメ・白羽の風蝕産地の保護活動に努める	文化財の保護・埋蔵文化財の発掘調査及びアカウミガメ・白羽の風蝕産地保護に係る経費 【主な事業費】 文化財保護審議会委員(8名)報酬 61千円 御前崎市文化財講座謝礼金 50千円 ウミガメ保護監視活動委託料 1,650千円 市指定「青い目の人形」修復業務委託 385千円 ウミガメ海岸漂着物処理業務委託 2,200千円 国指定天然記念物ウミガメ保護看板取替工事 316千円 ウミガメ第2ふ化場フェンス撤去工事 677千円 市指定「白羽神社本殿」保存整備事業補助金 515千円	7,699	7,161	538	社会教育課
青少年育成事業	・サポート隊による地域での子どもたちへの見守りと、地域のリーダーとなる子どもを育成する体験活動を推進する	青少年健全育成に資する経費 【主な事業費】 社会教育指導員(1名)報酬 1,200千円 家庭教育支援員謝礼 187千円 青少年リーダー育成事業委託料 2,215千円 ボーイスカウト・ガールスカウト育成補助金 158千円 家庭教育学級支援補助金 700千円	5,964	5,736	228	社会教育課
成人教育事業	・自分の学びとみんなの学びが地域の活力になる学びの循環のため、生涯学習講座や社会教育学級活動を補助するとともに、新成人を祝う成人式を挙げる	生涯学習講座、社会教育学級活動、成人式に係る経費 【主な事業費】 生涯学習市民講座講師謝礼金 300千円 社会教育学級育成補 1,350千円 成人式記念品関係経費 376千円 日本語教室委託料 400千円 生涯学習講座ガイドブック印刷製本費 554千円 生涯学習学びのパスポート印刷製本費 270千円 おまえざき学びの航海図 印刷製本費 109千円	3,536	2,918	618	社会教育課

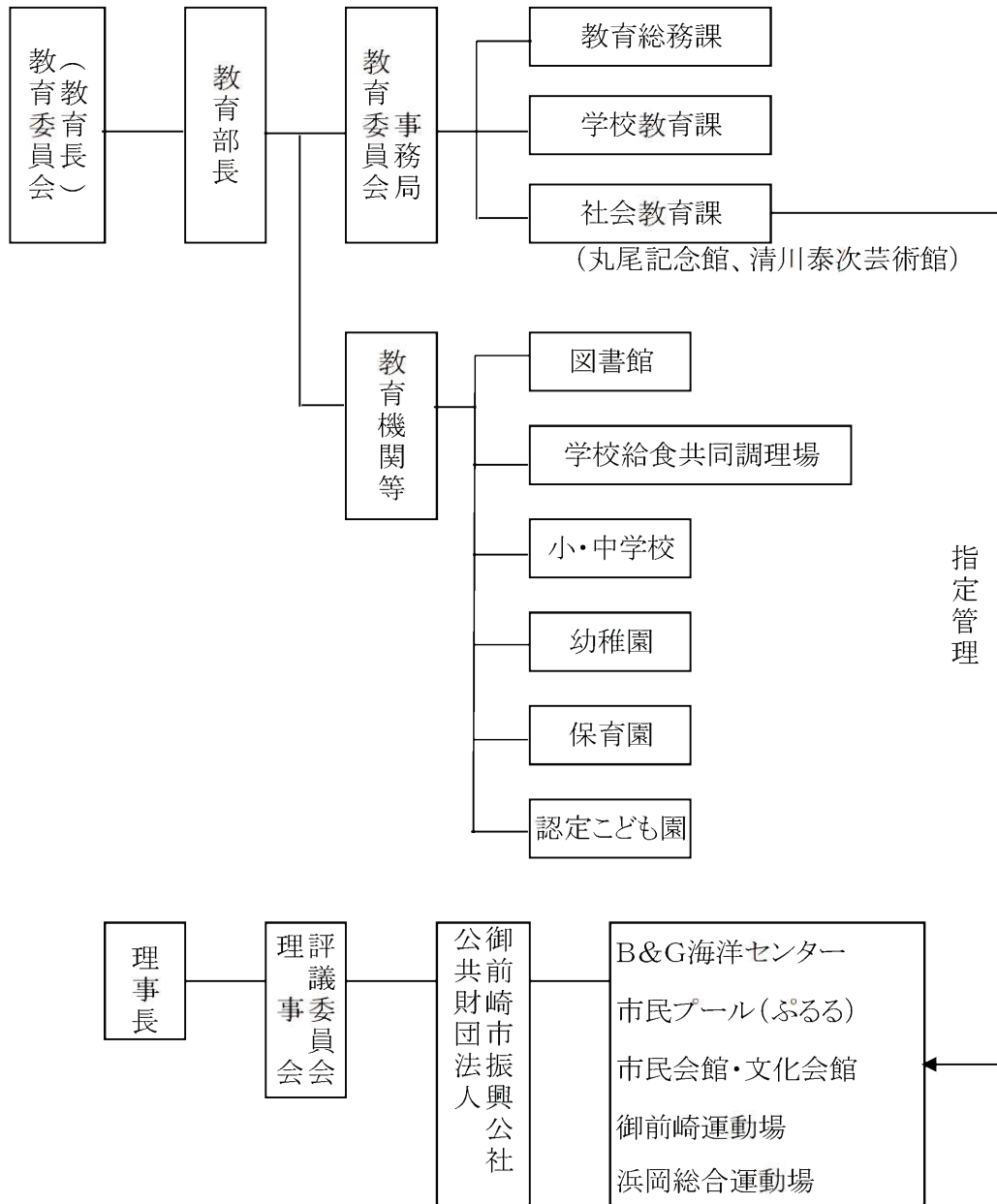
(単位：千円)

事務事業名称	事務事業概要・全体計画	令和3年度主要事業の内容	当初予算額		比較	所管
			令和3年度	令和2年度		
人件費	・図書館関係職員給与等支給に係る経費	市立図書館：正規職員 6名、会計年度任用職員13名	57,650	60,263	△ 2,613	総務課
図書館運営事業	・利便性の高い図書館運営をめざし、生涯学習の拠点として図書館利用の促進を図る	図書館の各種資料の購入、データ管理等円滑な運営に係る経費 【主な事業費】 消耗品費 3,208千円 電算システム保守管理等委託料 3,828千円 電算システム等賃借料 9,551千円 図書、視聴覚資料購入費 21,000千円	41,896	43,266	△ 1,370	図書館
図書館管理事業	・図書館の効率的な維持管理に努め、利用者の安全確保とサービスの向上を図る	図書館の維持管理に係る経費 【主な事業費】 光熱水費 7,304千円 施設等修繕料 1,806千円 施設管理委託料 4,311千円 環境衛生委託料 6,089千円 工事請負費 太陽光発電設備設置工事 50,640千円 照明設備LED取替工事（本館閲覧室） 5,500千円	83,778	58,214	25,564	図書館
芸術館運営事業	・丸尾記念館・清川泰次芸術館の健全な運営に努め文化意識の高揚を図る	丸尾記念館・清川泰次芸術館の運営に係る経費 【主な事業費】 牧之原開墾150周年「丸尾文六講演会」謝礼金 30千円 丸尾文六企画展・講演会チラシ・ポスター等印刷 501千円 川口栄洋画展チラシ・ポスター・パネル印刷 158千円 清川泰次芸術館管理委託料（シルバー人材） 961千円 丸尾記念館イベント実行委員会負担金 130千円	1,870	1,496	374	社会教育課
芸術館管理事業	・丸尾記念館・清川泰次芸術館の良好な管理に努め文化意識の高揚を図る	丸尾記念館・清川泰次芸術館の管理に係る経費 【主な事業費】 光熱水費 567千円 施設修繕料 190千円 施設管理委託料 593千円 （浄化槽保守点検、防犯警備ほか） 環境衛生委託料 1,369千円 （建物清掃・植栽管理ほか）	3,002	2,777	225	社会教育課
スポーツ振興事業	・市民が健康でスポーツに親しむ環境を作るため、軽スポーツの普及や体育団体の育成を図る	市民スポーツ普及・振興に資する経費 【主な事業費】 委員報酬 1,804千円 スポーツ推進審議会委員（13名） スポーツ推進委員（23名） 委員被服費 230千円 交流大会等バス借上料 509千円 市体育協会補助金 5,800千円 飯塚選手ランニング教室講師謝礼金 520千円 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー等関連事業 894千円	11,676	12,360	△ 684	社会教育課
市町对抗駅伝事業	・静岡県市町对抗駅伝競走大会へ御前崎市代表チームを派遣する	静岡県市町对抗駅伝競走大会参加に係る経費 【主な事業費】 実行委員報酬（9名） 69千円 指導スタッフ謝礼金（10名） 591千円 選手ユニホーム等被服費（21名） 421千円 選手スタッフ、応援バス借上料 277千円	1,704	1,643	61	社会教育課
海洋スポーツ事業	・海洋性スポーツ団体を通じて各種事業を提供することにより、マリンスポーツの普及と底辺拡大を図る	マリンスポーツ普及に資する経費 【主な事業費】 海洋スポーツ機材修繕料 100千円 水上バイク等 196千円 海洋スポーツ事業委託料 2,950千円 スタンドアップパドルボード購入費 432千円	4,308	3,498	810	社会教育課

(単位：千円)

事務事業名称	事務事業概要・全体計画	令和3年度主要事業の内容	当初予算額		比較	所管
			令和3年度	令和2年度		
体育施設管理事業	・各種スポーツ施設の整備や維持・補修及び用品の修理・補充を行い、市民スポーツの拠点の良好な環境を維持する	体育施設の良好な環境保持に資する経費 【主な事業費】 体育施設付帯消耗品 120千円 小学校グラウンド照明電気料 960千円 施設修繕料 3,990千円 浜岡総合運動場野球場放送設備修繕 浜岡総合運動場陸上競技場管理棟修繕 市民プール入口看板表示面修繕 等 施設改修等業務委託料 5,100千円 市民プール個別空調設備他更新工事実施 設計業務 等 環境衛生委託料 1,222千円 浄化槽清掃業務 女岩緑地広場除草業務 等 市軍工事費 市民プールの過設備更新工事 124,000千円 B&G海洋センター浄化槽設備改修工事 8,000千円 B&G海洋センター第一体育館排煙窓改修工事 2,300千円	147,192	254,876	△ 107,684	社会教育課
人件費	・学校給食関係職員給与等支給に係る経費	給食センター：正規職員2名、 会計年度任用職員1名	17,906	17,971	△ 65	総務課
御前崎給食センター管理運営事業	・御前崎地区のこども園、幼稚園、小・中学校の児童・生徒に安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供する	学校給食の実施に係る経費（こども園1園、幼稚園1園、小学校2校、中学校1校） 【主な事業費】 消耗品（調理用他） 146千円 燃料費 570千円 光熱水費（水道・電気・ガス） 3,358千円 修繕料（施設・物品・自動車） 702千円 賄材料費（給食材料） 18,884千円 委託料（施設管理・環境衛生） 2,991千円	26,940	74,957	△ 48,017	給食センター
浜岡給食センター管理運営事業	・浜岡地区のこども園、幼稚園、小・中学校の児童・生徒に安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供する	学校給食の実施に係る経費（こども園1園、幼稚園2園、小学校3校、中学校1校） 【主な事業費】 委員報酬（学校給食運営委員会） 42千円 消耗品費（調理用他） 200千円 燃料費 1,789千円 光熱水費（水道・電気・ガス） 4,797千円 修繕料（施設・物品・自動車） 677千円 賄材料費（給食材料） 35,088千円 委託料（施設・環境） 2,748千円	45,813	137,619	△ 91,806	給食センター
給食センター建設事業	・御前崎、浜岡両給食センター老朽化による統合学校給食センター建設を行う	新給食センター建設に係る経費 【主な事業費】 発注者支援・浜岡C解体設計業務等 2,700千円 CATV機器移設工事 1,540千円 駐車場周辺整備工事 1,300千円 御前崎給食センター解体工事 75,000千円	80,800	1,373,700	△ 1,292,900	教育総務課
学校給食センター管理運営事業	・御前崎・浜岡地区のこども園、幼稚園、小・中学校の児童・生徒に安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供する。	学校給食の実施に係る経費（こども園2園、幼稚園3園、小学校5校、中学校2校） 【主な事業費】 委員報酬（学校給食運営委員会） 42千円 消耗品費（調理用他） 2,249千円 燃料費 36千円 光熱水費（水道・電気・ガス） 10,206千円 賄材料費（給食材料） 95,912千円 委託料（施設・環境） 4,769千円 備品購入費（厨房用、給食配送車） 92,792千円	208,453		208,453	給食センター
調理配送業務委託事業	・御前崎・浜岡・御前崎市学校給食センターの調理、配送業務の委託に要する経費	学校給食の調理、配送に係る経費 【主な事業費】 学校給食調理配送業務委託料 123,569千円	123,569	103,576	19,993	給食センター

教育委員会組織図



御前崎市教育振興基本計画

御前崎市教育大綱



2021年4月改訂

御前崎市教育振興基本計画（2021.4改訂）

御前崎市教育大綱（2021.4改訂）

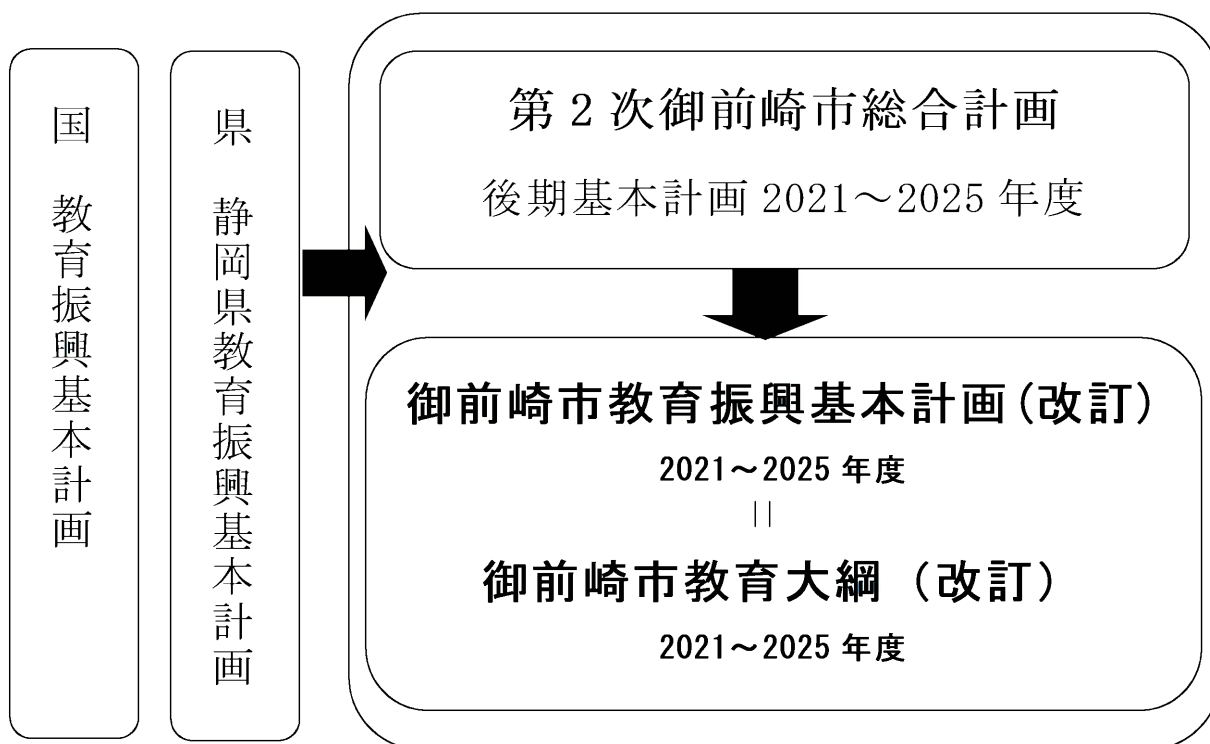
I 教育振興基本計画及び教育大綱の位置付けと改訂の経緯

御前崎市教育振興基本計画（以下「基本計画」）は、教育基本法第17条第2項に基づき、御前崎市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、2016年3月に策定しました。

本基本計画は、本市の最上位計画である「第2次御前崎市総合計画（2016～2025）」（以下「市総合計画」）と内容の整合を図り、対象期間も市総合計画と同じ、2016年から2025年までの10年間としました。

2020年度、策定から5年目となり、修正が必要な項目や新たに取り組むべき課題が出てきました。市総合計画においては前期の5年を検証し、基本構想を維持しながら各施策や目標値等を見直し、後期基本計画を策定しましたので、本基本計画についても、基本目標である「郷土を愛し未来を創る人づくり」を維持し、「御前崎の人づくり」＝「スクラム御前崎」も継続した上で、現状と今後を見ながら各施策等を見直し、改訂しました。今回改訂した基本計画の対象期間は2021年度から2025年度までとします。

なお、この基本計画を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3に規定される教育大綱に代えるものとします。



II 基本目標

スクラムで取り組む「郷土を愛し、未来を創る人づくり」

III 基本方針

園・学校、家庭、地域、産業界、各団体、行政等がスクラムを組み、協働することによって、

- 1 思いやりがあって互いを認め合うことができ、たくましくしなやかな子どもが育つ
- 2 生涯にわたってともに学び続け、互いに高め合う市民が育つ

IV 重点施策

1 子どもが育つ基盤づくりを進めます

(1) スクラムによる市全体の教育力の向上

- コミュニティ・スクールを推進し、総がかりで地域の特徴を活かし、子どもたちのより良い育ちを支援します。
- 開かれた園・学校づくりを推進し、地域人材を活かしたキャリア教育、防災教育、学校支援ボランティア活動等の拡充を図ります。

(2) 人としての根を養うための、市の特色を活かした教育の推進

- 「子どもたちが本と親しむまち 御前崎」を目指し、図書館、園・学校、ボランティア、家庭が連携して読み聞かせ・読書を推進し、豊かな心を育みます。
- 青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」をはじめ、企業や関係団体と協力したエネルギー教育や海洋体験活動等を通じて愛郷心を育みます。
- スクラム・スクール運営協議会を中心に、市をあげて「子どもたちの生活習慣の安定」、特に「ゲーム障害・ネット依存の防止」に重点的に取り組みます。
- スクラムグッドマナー運動を中心に、挨拶運動や地域行事への参加をさらに推進し、地域の子どもは地域で育てます。

2 スクラム・スクール・プラン（園・小・中・高の途切れのない教育）で一貫性のある教育を推進します

(1) 生きていく力の基礎の育成

- 自発的な遊び・体験を重視し、「好奇心を持って夢中になる子ども」を育成します。
- 家庭教育支援を通して、親の学びや親としての育ちを応援します。
- 乳幼児期における個性伸長教育を推進します。

(2) 変化の激しい今後の社会を生き抜くための資質・能力の育成

- 互いの人権を尊重し、思いやりを大切にする教育を推進します。
- 基礎となる知識・技能、自ら問う力、思考力・判断力・表現力、主体的に人や社会と関わる力等を育成します。
- 授業、部活動、スポーツ少年団などを通じて体力の向上を図ります。また、多様化・深刻化する健康課題への組織的な対応を進めます。
- 個にきめ細やかに対応する教育体制の充実を図ります。
- 情報機器の効果的な活用を研究・実践するとともに、情報モラルの指導にも努めます。

(3) 子どもたちが可能性に挑戦できる教育環境の整備

- 将来を見通した学校再編計画及び学校施設の長期改修計画を作成します。
- 教育用 ICT 機器等の導入を推進します。

(4) 子どもたちの心と体を支える安全で魅力ある学校給食の提供

- 新学校給食センターの機能を活かし、安全で魅力的な給食の提供をします。
- 食育の推進に努めるとともに、地場産食材の活用の拡大に取り組みます。

3 自分とみんなの学びによって地域の活力となる学びの循環をつくります

(1) 笑顔でつながる学びの輪の醸成

- 市生涯学習基本方針の下、「おまえざき学びの航海図」を作成・活用し、市民がライフステージごとに主体的継続的な学びに向かうよう、生涯学習講座等の充実に努めます。
- 個人の学びが互いの学びにつながり、学んだことをまちづくりに活かすことができるよう、「学びの循環」の仕組みづくりに取り組みます。

(2) 市民の豊かな心を育み、くらしに寄り添う図書館づくり

- 子どもの読書活動を推進します。
- 生涯学習の拠点として施設の充実（多機能化）を図ります。
- 将来を見据えた図書館のスマート化を推進します。

(3) 心身ともに健康な市民を目指したスポーツの振興

- 幼児期から運動を身近に感じることができる環境を整え、基礎体力の向上を図ります。
- 生涯学習の一環として、誰もが気軽に運動を継続できる機会や環境づくりに努めるとともに、スポーツ団体が主体となった活動を支援し、市民の体力維持・向上を図ります。

(4) 文化・芸術の継承と振興及び文化財の保護と活用

- 多くの市民が文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化団体が主体となった活動を支援します。
- 市民一人ひとりが文化財を大切に守り継承していけるよう努めるとともに、子どもたちが文化財に親しむ機会を増やし、郷土への誇りと愛着を育みます。
- ウミガメの生息環境の保護に取り組むとともに、その啓発活動に努めます。

スクラム御前崎 令和3年度版

令和3年4月発行

編集・発行 御前崎市教育委員会

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田5585番地

TEL 教育総務課 0537 - 29 - 8733
学校教育課 - 8734
社会教育課 - 8735